

教科	科 目	単位数	学年・クラス
家庭	ファッション造形基礎	2	2年1組

1 使用教材

使用教科書	ファッション造形基礎
出版社	実教出版
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

1	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作についての知識と技術を身に付ける。
2	被服製作やデザインに関する課題を見つけ、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。
3	衣生活の充実向上を図ろうとし、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技術	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業中活動への積極的な参加・教師の発問に対する応答
ノート提出	A	A	A	期限内の提出・ノートの記述の取組状況
課題・作品提出	A	A	A	期限内の提出・作品の出来ばえ
定期考査	A	A	C	定期テスト

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	<p>オリエンテーション</p> <p>1章 衣服の構成</p> <p>1 人体と衣服</p> <p>2 立体構成衣服と平面構成衣服</p> <p>3章 洋服の製作</p> <p>1 製作の基礎</p> <p>2 アウターパンツの製作</p>	<p>着心地のよい衣服を製作するためには、人体の構造や機能、動作時の変化に対応したゆりみ、性別や年齢による体型の変化等を考慮しなければならないことを理解する。</p> <p>被服の構成について、和服と洋服を取り上げ、立体構成と平面構成の特徴について理解する。</p> <p>衣服材料の種類と特徴について理解し、製作する被服のデザインや着用目的に合った衣服材料の適切な選択と取り扱いができるようにする。</p> <p>採寸方法について理解する。</p> <p>縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。</p> <p>立体構成に関する基礎的知識・技術を習得する。</p> <p>下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。</p> <p>アウターパンツに適したデザインや素材を理解し、製作をする。</p>
2 学期	<p>4章 和服の製作</p> <p>1 製作の基礎</p> <p>2 甚平の製作</p> <p>○期末考査</p> <p>3 着 装</p>	<p>和服の構成と製作に関する知識と技術を習得する。</p> <p>平面構成に関する基礎的な知識を身に付け、和服製作の技術を用いた甚平を製作する。</p> <p>甚平に適したデザインや素材を理解し、製作をする。</p> <p>製作した作品の発表を通して、新たな作品の製作への意欲を高める。</p> <p>和服の構成を理解し、ひとえ長着の着付けをする。</p>
3 学期	<p>被服製作</p> <p>○学年末考査</p>	<p>基礎縫い（なみ縫い、まつり縫い、半返し縫い、ボタンつけ、ミシン操作）の知識・技術を身に付ける。</p> <p>既習事項を生かし、ミニチュアの洋服製作を行う。</p>